

熊谷市立別府中学校平成30年12月

清沼の泉

○学校教育目標○

郷土を愛し、21世紀を強く正しく生きる生徒の育成

○目指す生徒像○

進んで学ぶ生徒・心豊かな生徒・進んで鍛える生徒

○教育活動のスローガン○

・当たり前のことが当たり前でできる生徒
・明るい挨拶、いい返事、笑顔と感動の別府中学校

ノーベル賞受賞「本庶 佑」先生の考えに学ぶ

校長 稲葉俊昌

先月10月1日(月)、京都大学名誉教授の本庶 佑(ほんじょ たすく)先生のノーベル賞が報道されました。

本庶先生は1942年1月27日に京都府で生まれました。子供の頃は弁護士や外交官も夢見たそうですが、「医師は多くの人を助けることができる」と考え、父親と同じ医学の道を選ばれたそうです。1960年に京都大学医学部に進学し、「自分で治療法を見つけたら医学に貢献できる」と、研究医の道に進みました。そして、37歳という異例の若さで大阪大学の教授に就任されました。

本庶先生は「一生を懸けるなら、リスクが高くてもやりたいことをやる」と、難しいと言われている免疫反応で生産されるクラススイッチの研究に取り組みました。1984年には京都大学医学部教授に就任され、免疫分野の研究で成果を上げ、1992年に「オブジーボ」の原型となる「PD-1」という分子を発見しました。今回注目されている画期的な抗がん剤「オブジーボ」は、実際に治験が始まったのが2006年、実用化までに約15年をかけた長年の研究の成果だそうです。

本庶先生の「粘り強くあきらめない」という姿勢から、医学の研究に対する強い思いが伺えます。

○基礎は地味で目立たない。だけど疎かにすると、その先にある成果を得ることはできない。

○研究者になるにあたって大事なものは、「知りたい」ということ「不思議だな」という心を大切にすること、教科書に書いてあることを信じないこと、常に疑いを持って「本当はどうなっているのだろう」と。自分の目で、ものを見る。そして納得する。そこまであきらめない。

○ひとえに苦勞してきた共同研究者や学生諸君、応援してくださった方々、長い間支えてくれた家族、言い尽くせない多くの人に感謝している。医学部出身で、基礎研究をする人がかなり減っている。基礎研究に夢が持てなくなっている。物事に不可能はない。必ず道があるとの思いでやってきた。実験というのは失敗が当たり前で、一回一回のことでめげていたらダメ。

考えが明確で、元気をいただくとともに背筋が伸びる思いです。生徒の皆さんも、自分に納得がいくまで、毎日の勉強や運動に挑戦してください。一人一人の大きな成果に期待をしています。



「熊谷市音楽祭」3年学年合唱「ヒカリ」

12 月

日 曜	行 事 予 定
1土	PTAバザー
2日	別府沼清掃(1・2年生)
3月	学年朝会
4火	登校指導日・くまなびスクール⑭
5水	2年生高校説明会/ハートフル学級⑩(閉級式)
6木	非行防止教室/漢字検定⑥
7金	別府地区小・中学生指導連絡協議会/第2回学校運営協議会
8土	
9日	
10月	後期人権旬間/全校朝会(人権集会)/世界人権デー
11火	一斉指導日/1年「生命の授業」/くまなびスクール⑮
12水	生徒会専門委員会⑧
13木	3年「プラネタリウム学習」
14金	ふれあい講演会
15土	
16日	
17月	生徒朝会(環境美化)
18火	一斉指導日/くまなびスクール⑯
19水	
20木	数学検定⑥
21金	年内授業最終日/全校集会/弁当持参/部活動無
22土	
23日	天皇誕生日
24月	振替休日
25火	冬季休業日(～1/7)/3年「通知書」配布
26水	
27木	
28金	仕事納め
29土	
30日	
31月	

◎1月の主な行事

8日(火)：授業開始日/全校集会/くまなび⑰
9日(水)：身体測定/漢字検定/金曜日課
11日(金)：中3テスト/1・2実力テスト
16日(水)：2年生熊谷市全国学テ「検証テスト」
17日(木)：2・2家庭科「郷土料理実習」
18日(金)：新入生説明会/子育て支援教室
22日(火)：市立高校入試中心日/2-1「郷土料理実習」
23日(水)：市立高校入試中心日
25日(金)～：3年生進路相談

◎清沼祭合唱コンクールが終わりました◎

後期が始まり5日後の10月26日(金)、今まで体育祭と平行して取り組んできた「清沼祭合唱コンクール」が「切り開け！我らの歌声で新時代を！～新たな時代の幕開け～」のスローガンのもとに開催されました。結果は次の通りですが、どの学級も力のこもった素晴らしい合唱でした。

3年2組合唱「手紙」

○金賞3年2組 ○銀賞3年1組 ○銅賞2年2組

○最優秀指揮者賞 金子大輝さん ○ポスター賞 3年1組 3年2組

3年生は、11月8日(木)にさくらめいとで開催された「熊谷市音楽祭」に学年で参加し、学年の課題曲「ヒカリ」を合唱しました。指導者の熊谷市出身オペラ歌手 原田 勇雅 先生からは、「スケールの大きい充実した合唱です。指揮をよく見て、集中力があります。ステージマナーも良いです。すてきな学年ですね。」という講評をいただきました。応援いただいた保護者、地域の皆様、別府小学校の5年生と保護者の皆様、ありがとうございました。



◎「進路指導・キャリア教育」研究協議会を開きました◎

本校は今年度、埼玉県進路指導・キャリア教育研究会から「25地区進路指導・キャリア教育研究協議会」開催校の委嘱をいただき、11月16日(金)に開催いたしました。市内の先生方や別府地区学校運営協議会、保護者の皆様が来校され、授業や研究協議会を参観してくださいました。指導者の先生方からは、今後のさらなる研究の方向性を示していただくと共に、各学級の授業での生徒の皆さんの活動について心温まるご指導をいただきました。今後も本校では、生徒の皆さん一人一人の夢や希望を叶えるために「進路指導・キャリア教育」の研究に継続して取り組み、「学びを深め、自らの生き方を主体的に考える生徒」の育成に取り組んでいきます。



◎第13回夢・未来熊谷ジュニア議会が開かれました◎

11月14日(水)の県民の日に、熊谷市役所議場で「第13回夢・未来熊谷ジュニア議会」が開催されました。

本校からは2年生の大武瑞希さんと為谷元春さんが参加し、大武さんは「暑さ対策について」、為谷さんは「空き家対策について」質問いたしました。是非今回の経験を、本校の生徒会活動の質の向上に生かしていただきたいと思います。



◎別府中「ジュニアスポーツフォーラム」が開催されました◎

11月7日(水)、別府中「ジュニアスポーツフォーラム」が開催されました。熊谷市役所から日本や世界のトップレベルで活躍された加藤誠也さん(陸上競技)、木川隼吾さん(ラグビー)、佐々木瞳さん(ソフトボール)、富田卓弥さん(バスケットボール)、水落穂南さん(ウェイトリフティング)の5名のアスリートが来校され、「本気で取り組んだ毎日の練習、試合で感じた喜びや悔しさ、支えてくれた人々への感謝、世界で戦ったアスリートたちが伝えるスポーツから学んだたくさんのこと」をテーマに体験学習や講演をおこなってくださいました。さすが各競技を専門的に学ばれた先生方で、生徒も一生懸命に体験したり話を伺ったりしていました。あっという間の3時間でしたが、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



※学校だよりは、後日別府中学校のWebサイトに掲載いたします。生徒の皆さんの写真や氏名等で、載せることが差し支える場合には、担任を通じてお知らせください。